



あい 逢
愛 逢

第	特定非営利活動法人 愛逢
25	尼崎市小中島1-20-21
号	電話 06-6493-1424 FAX 06-6493-1443 発行責任者 坂本敬子 発行日 2009年4月16日

ホームホスピス「愛逢の家」

賃借契約終了

その家は東園田9丁目にあります。5部屋と台所とお庭がついています。全室南向きでとても明るく、落ち着いた雰囲気です。見学者には「いいわね、私もここに住みたいくらい」とよく言われます。

3月1日付けで賃貸契約を結びました。

オープンは8月か？！

今から、トイレやお風呂などをもう少し使いやすくするために改修工事をします。また、改修費の一部に助成金を申請し、6月末の結果待ちです。それから工事にかかるために、オープンは早くも7月中旬、8月に入るかもしれません。

オープン準備

● ボランティアの集い

昨年秋のボランティア養成講座に参加され、「愛逢の家」のボランティアに登録してくださった方を中心に、見学を兼ねてお集まりいただきました。

園田苑のボランティアグループ「園」さんから、「愛逢の家にボランティアとして関わっていなかったら今の私はないな」と何年か後に言えるような活動を見つけていってほしい。



い、と言うお言葉をいただきました。20年の歴史が語る含蓄ある言葉で、深く胸に刻みました。

● ご近所にご挨拶

お留守もあり、まだまだご挨拶が遅れているところもありますが、お目にかかれた方は、大変温かく迎えて下さっているように感じ、ありがたく思っております。

● パンフレットと看板

いのちと生きがいプロジェクトから助成金をいただきました。

素敵なパンフレットを作りたいと、少しだけお金を使ってプロにお願いしています。

看板は発注しています。

● 寄付のお願い

パンフレットができましたらあらためてお願いに上がりますが、1口千円です。是非ご協力お願いいたします。

また、日常生活用品などのご協力もお願いいたします。

NPO法人愛逢 第6回総会

日時 5月23日(土) 午後6時
会場 小中島福祉会館(2F)

「市民が誇れるまち・尼崎—市民まちづくり交流大会」が開かれました

2月2日、聖トマス大学を会場にして尼崎の市民活動やNPOが初めて一堂に会した「市民が誇れるまち・尼崎—市民まちづくり交流大会」が開催されました。あいにくの雨模様にもかかわらず、約600名の参加者でにぎわいと活気のある交流大会となりました。

尼崎の魅力を再発見

第一部の「ごった煮の活動発表会」は、学生会館2階を会場に午前10時から午後14時20分まで、愛逢を含め33団体と、自分たちの活動を7分間という短い時間でしたが、熱心に報告していただきました。

ひきつづき14時30分からは、第2部「尼崎の魅力発信」として近松人形劇や大覚寺身振り狂言などの尼崎の伝統文化が上演されました。

また、学生会館1階では「尼崎の魅力発信」の展示・即売の会場となり37団体の活動パネルが展示されるとともに尼崎の特産品や名物を集めた「メイドイン尼崎」の即売会も行なわれ、大変なにぎわいとなりました。



近松人形劇の上演



活動報告会の様子

感動的な交流パーティー

16時30分からは第3部「ネットワーク交流パーティー」が会場を学生食堂ホールに移して行なわれました。初めての交流大会でもあり、実行委員会としてははたして何名の方が残ってくれるか心配していたのですが、なんと100名以上の方が参集し、白井尼崎市長もかけつけていただき、皆で成功を喜びあう感動的な交流パーティーとなりました。

市民活動飛躍の「出発点」に

この数年、尼崎の市民活動が活発化しつつあるにもかかわらず、すべての市民活動が一堂に会して交流する場がもてない状態が続いていた中で「待ちに待たれた」交流大会でした。当初は初めて出会った実行委員団体が若干とまどう場面もありましたが、尼崎のほぼ中心的な市民活動団体グループが出揃い、共に汗を流してできあがった今回のネットワークは、これからの尼崎の市民活動を一段と飛躍させる新たな「出発点」になることでしょう。

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

配 食 サ ー ビ ス

桜の花も満開になり、春一色の頃となりました。毎日（月曜～土曜）の活動をはじめて三年が過ぎ多勢の方に食べていただき又、活動のお手伝いをしてくださりありがとうございます。

（利用者の声）

- ・いつもお世話になりありがとうございます。
- ・雨の降る中ご苦労さま
- ・おいしかったよ。ちらしすし大好き
- ・器を洗うことしかできなくてごめんね

皆様からの色々な声をこころに響かせながら一食一食を大切に作り、配達しています。より多くの方に利用していただきたいのですが活動人員の不足でままならない状態です。調理・配膳・配達・弁当箱準備等の手伝いをしていただけのスタッフを大募集しています。

（配食責任者 橋平）



季節を感じる献立



配達先のカードを見ながらチェック

調理・配膳・配達・弁当箱準備等の手伝いスタッフを大募集

活動時間・場所

月曜～土曜（祝日は休み）

午後 1:30～ 4:30

調理・配膳

午後 4:00～ 5:30

配達（自転車、自動車）

午後 5:00～ 6:00

弁当箱準備

虹のふれあいセンター（小中島 1-5-10）

※特に、配達 of 自動車運転のできる方大募集

会員登録更新と入会のお願い

会員の皆さま、会員登録の更新は、もうお済みでしょうか？昨年同様、引き続きましてお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

また新たに私達と一緒に活動していただける方は、正会員として、活動に賛同し、支援していただける方は、賛助会員としてお申込み下さい。

正会員：年会費 3,000円 入会費：2,000円（正会員のみ）

賛助会員：年会費 2,000円

※お問い合わせ 電話 06-6493-1424

ミニデイ、大阪でクルージングとお花見

4月6日(月)、この日はこれ以上ないと思われるような絶好のお花見びよりの日。14人で大阪に車で出かけました。まず天満橋下からクルージング。船上をよぎる風は本当にさわやかでした。大川兩岸の桜は満開で、皆を迎えてくれました。昼食はお花見をかねて桜宮公園で。罰ゲームで踊りもあり、今年も楽しい春のミニデイでした。

参加者やボランティアの皆さんの声：

「いいお天気でお弁当、とってもおいしかったです。」「ありがとうございます。ビール、

もっと飲みたかったです。」「船に一度、乗りたかったのです。念願がかなって本望です。冥土のみやげが出来ました。」「暖かくて良かったです。」「船上から眺める桜は格別、思いもよらない花見が出来ました。」「船上では特等席からシャッターを切ることも出来、船酔いもせず良かった。」「桜がきれいで良かった。クイズが楽しかった。」「出不精の私が、近くにこんなすばらしい花見を間近に見ることが出来、気持ちは絶好調。」



ホット待^{タイム}夢



昔、但馬方面に出かけた時、氷上、西紀当りの山中で、ガイドさんが「ここが分水嶺です。」と説明されていました。最近では高速道路を走るのだから聞かなくなった言葉ですが、一緒に空から降りてくる雨粒も分水嶺を境に少し離れただけで北は日本海、南は大阪湾に辿り着くことになります。

4月は分れ、出会いの時、長い人生の中で私達もいくつかの分水嶺に立ち、意識、無意識の中で一方を選んで来られたと思います。

そして今、愛逢で出会っています。これからは同じ方向に下りたった雨粒のように、志も同じくして大きなオアシスに辿り着けるように支え合ってゆければと願っています

< 淑女 >

ごあいさつ

2007年7月の16号からこの編集を担当してきましたが、今回で卒業となりました。ありがとうございました。なおインド紀行ではまたお目にかかるかも知れません。最後に映画のご紹介をします。まもなく行きますインド・ムンバイが舞台となった映画で、今年のアカデミー賞8部門を受賞した「スラムドッグ\$ミリオネア」です。いい作品です。インドのエネルギーを知ることができます。中心はスラムの子どもたちを取り巻く厳しい環境、懸命に生きようとするたくましさとしたたかさ、それと愛と……。この映画



の舞台の近くの町はこんな感じ、喧騒そのものです。映画は4月18日から一般公開されます

< t o m y >